

相模女子大学と包括連携協定を締結

佐渡市と相模女子大学（神奈川県）は、相互に協力し、地域の発展と人材の育成に寄与することを目的として、7月3日に包括連携協定を締結しました。

佐渡市と大学の包括連携協定は、新潟大学、東京農業大学に次いで3校目です。

相模女子大学は、平成21年度から高千地区において、学生が地域行事に参加するなどにより、交流を深めています。



市役所で行われた包括連携協定締結の様子。協定書にサインし、握手を交わす谷崎相模女子大学学長（右）と高野市長。



包括連携協定締結後に開催された記念シンポジウムの様子。

また、昨年度は、佐渡市が行った女子大生による着地型ツアープラン発表会にも参加するなど、佐渡観光の活性化にもご協力いただきました。

今後は、女子大学としての特色を生かしながら、相互に協力して地域発展につなげる事業展開を図っていくこととしています。

島内産業の活性化を

「佐渡産業創造塾」

市では、島内の各種製造業の研究・技術開発を支援するため「佐渡産業創造塾」を開いています。

この「佐渡産業創造塾」は、企業経営者などで行く「島の応援団」推進委員会の提案事業（※）のひとつで、今年度は10回の開校を予定しています。

島内各種製造業の社員を対象に、技術力の向上や新規事業開拓へのヒントとなるよう、新潟大学をはじめ県内の各研究機関から講師を招き、講演を行っています。



第2回佐渡産業創造塾

6月28日に開かれた第2回佐渡産業創造塾には、約50名が参加。新潟大学の田中眞人名誉教授が「マイクロカプセル開発の現状と付加価値素材製造への応用」、尾田雅文教授が「ものづくりに講座 安全の規格と考え方その2」と題した講演を行い、製造可能なマイクロカプセルの材質や種類、利用方法などについて、活発な質疑応答が行われました。

「佐渡産業創造塾」では、島内製造業の研究開発型企業への脱皮を図っていきます。島内企業での協業、島内産業の活性化などが期待されます。

※「島の応援団」推進事業とは？

市が抱える最重要課題のひとつである「産業振興」「人口の拡大」を図るために、市とともに意欲のある企業などが共同・連携して解決策の企画・実証に取り組みます。これまでの成功事例を広め、地場産業・地域経済などの活性化を促進します。

